

民主党ヘディング

民主党神戸市会議員団 川原田弘子ニュース
神戸市中央区加納町...



宮古島で買ったセイロンベンケイソウの葉っぱ。「幸せの葉」とも呼ばれる葉は、水に浮かべておくだけで、次々と周りに芽が出て育ちます。

6月定例市会では、議会人事が更新されました。常任委員会の福祉環境委員会は、今期で3度目となりますが、福祉や医療と課題の多い保健福祉局の審議に加え、地球温暖化という厳しい課題を抱える環境局と、責務の重い1年となりそうです。

～川原田弘子事務所連絡先～
〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202
TEL&FAX 078-709-8998 携帯 090-1956-5565
e-mail: happy@hiroko-club.com URL : <http://www.hiroko-club.com>

～市住家賃改正に対し代表質問しました～



福祉環境委員会の委員長に就任しました。

昨年12月に公営住宅法施行令が改正され、公営住宅に申し込み可能な収入の上限「**入居収入基準**」が、**政令月収20万円から15万8千円**に引き下げられました。また収入区分の見直しに伴って、**家賃算定基礎額なども改正**されました。改正施行令は平成21年4月に施行されることとなりますが、これに沿った条例改正の議案が提出され、併せて、神戸市独自の減免規則の見直しも提案されました。自公民3会派からの申し入れによって、家賃が上昇する場合の**毎年の上昇率は¥3000/月に抑えられ**ましたが、大幅な改正ともなるため、会派を代表して市長に質問・要望を行いました。

女性ネットワークからの1年の報告

～ふれあい義塾を訪ねました～



「ふれあい義塾」は、かつて炭鉱で栄えた町、筑豊・田川にあります。義塾を運営する工藤良さんは、元暴走族「極速会」の総長という異色の経歴の持ち主。暴走族グループをボランティア団体に転進させ、その後、非行に走ってしまった少年少女たちの居場所づくり、「ふれあい義塾」を立ち上げました。彼の熱意にかられたたくさんの人が、義塾の運営をサポートし、学校などともうまくタイアップした活動が展開されていました。

上の写真は、義塾前で撮ったもの。小さい一軒家に、非行や引きこもりなどから学校に行かなくなった子どもたちが、一緒に生活し、学校に通っています。そして何人もの少年たちが、ここから巣立っていきました。工藤さんは、本当に総長だったのかと疑いたくなるような優しい目線と、もの静かな雰囲気を持ち主。「2ミリでも3ミリでも何か前に進めばいい。」という言葉には、重みと温かみがありました。すべての少年少女達が、多感な時期を、“居場所”を求めながら成長していきます。私たち大人に必要なのは、その気持ちを理解してあげること。物理的な居場所を提供するだけでなく、そうした大人を増やしていくことこそ、議員の大事な仕事であると思っています。

昨年新人女性議員3人と立ち上げた女性ネットワークでは、1年目のテーマに教育を掲げました。2期目の私を含め、仕事をこなすのに精一杯で、なかなか4人そろっての時間もとれなかったのですが、一緒に視察に行ってきました。今後、政策提言などに結び付けていくためにも、引き続き教育をテーマに4人で活動していきたいと思っています。

Q: 政令改正の目的は「応募倍率の上昇から住宅困窮者になかなか住宅が当たらない」ことを是正していくことにありますが、効果は?

A: 政令月収の引き下げで、より困窮度の高い人に的確に供給できる。現在お住まいの方の収入超過者にも、5年間は旧基準が適用されるため、その後、供給できる住宅が増えることになる。

Q: 同じ年収でも、年金収入の人は70%減免で、給与収入の人は子どもが多くても減免がないなど、不公平がありました。今回改正されます。公平になるとはいえ、1軒の世帯でみると、家賃値上がりになる場合も。家賃の安いところに住み替えできませんか?

A: 市営住宅は入居希望者が多く、公平を期するため、公募が原則。公募によらない住み替え制度は、市営住宅に入居後、身体の障害や高齢などの理由のみ認めてきた。家賃の額だけでは難しい。

要望: 子育てが終了して家族が少なくなった世帯、子どもが生まれて手狭になった世帯、こうした世帯間の住み替え制度はこれまであまり進んでいなかった。今回併せて力を入れて広報してください。収入増の見込みのない高齢者の世帯で、このところ税や保険料や負担増が続いています。少しアルバイトでもできれば、不安感も違ってきます。ところが現実には、高齢者にとって仕事を探すのは大変難しい。高齢者の働く場作りへの取り組みを強く要望します

～新しい敬老パスのカードは、こんな感じの使い方になります～

ICカードチャージ機

予め、チャージ機でカードにお金を入金します。

山陽バスに乗る場合... H20年秋は、山陽バスの社内ICカード機対応ができないことが予想されます。

敬老パスカードを提示して¥50を運賃箱に入れて、ご乗車ください。

地下鉄・市バスに乗る場合... カードを改札機等に近づけると「ピッ!!」と音がします。降りるときに、地下鉄では**小児料金の半額**が、市バスでは**¥50**がカードから差し引かれます。

*注 所得の少ない(非課税世帯かつ本人の年収が120万円以下)方へは、別途オリジナルカードの対応があります。

